

■ わが社の使命と夢 ■

一流、二番、一人前になろう！

トスレック(株) みかさ じつお
代表取締役社長 三笠 日郎 氏

脱サラでスタート

創業のきっかけが実に奇縁であった。大学を出て京都市内の電線問屋に勤め、やり手の営業マンだった。ある日、そのころ飛ぶ鳥を落とす勢いのベンチャー企業N社(京都市)本社に飛び込んだ。いつもはめったに席につかないN社の社長に会うことができた。

「名刺だけでもいただけたらと思ひまして参りました」

「そうか、どうや、うちに営業部長で来ないか」

N社の社長は訪問してくる人で、「役立つ」と睨んだ人物を引き抜くことで定評があったが、「まさか、自分に声がかかる」とは思ってもみなかった。光栄なことだったが、逡巡した末に「今日からサラリーマンをやめて独立します」と宣言せざるを得なかった。せっかくの誘いを断ったら取引停止になることを心配しての決断だった。

独立したのは3DKのマンションの部屋で電話一つでブローカー的な仕事を始めたが、「ほとんど仕事もなく、たまにあっても他社の製品を仕入れる二次店ですから赤字状態でした」と2年ばかり続けた。そのころN社から「基板の実装品アッセンブリーをやらないか」という声がかかった。

技術が分からないと思っていたところに「リストラされた技術者」が現れた。彼らの力を得てN社から注文が入った。

大波をかぶりながら

「病気」とは、気を病むというように、悩み気を使うと病気になる三笠社長は信じている。N社から誘いがあったころ、務めていた職場で左遷された。このため自棄酒を浴びるよう



に飲む毎日を送っていた。そんなこともあって体調を崩し、救急車に10回以上世話になったので病院で精密検査をしてもらおうと、心臓に大きな腫瘍が見つかり、手術によって一命を取りとめた。

それ以来、何事も気にせず、すぐに忘れ気持の切り替えを心がけている。そうした修練のおかげで、その後の苦境を乗り切れたという。

やがて草木もなびくように日本の製造業は中国へ工場移転を始めた。取引先のN社も突然、中国へ移転を決定したので注文はゼロに。月2億数千万円の売上が数百万円に激減した。電池メーカーの携帯用パック基板も手掛け、ピーク時230人に膨らんでいた従業員のうち130人分の仕事量にも達していた。ところが3ヵ月先にこれも中国移転のため注文がなくなった。

「130人の従業員を受け入れる人材派遣会社・三笠ヒューマンテクノを設立しました」と、苦肉の策で乗り切った。

創立40周年を飛躍台にと

社名のトスレックは一般には意味不明だが、「ラグビーをやっていたので、トス、つまりパスすることです」と説明。レックのレは

LSI（大規模集積回路）とエレクトロニクスとカンパニーをつなぎ合わせた造語である。

その名も知らぬ企業が1995年という時期にスリランカに「Toslanka」という子会社を設立、電子部品の組み立て工場をつくった。いまでこそインドやスリランカに注目が集まっているが、同社の進出はいかにも早い時期である。

「23年前、高校の先輩に連れられて初めてスリランカを訪れ、その時、出会った現地の青年（京都大学に留学）からスリランカは先の戦争で爆撃を受けたが、賠償放棄を一番先に宣言したと聞いて、その優しい思いに応えたいと下請けの分際でしたが、進出を決めました」

いまその青年はToslankaの副社長で活躍している。

2008年にはインド営業子会社「京三笠」を設立している。従業員の数は国内150名、海外250名と逆転している。売上の100%はOEM製品である。2022年の創立40周年には売上100億円を突破したいと夢を描く。



新たなる挑戦

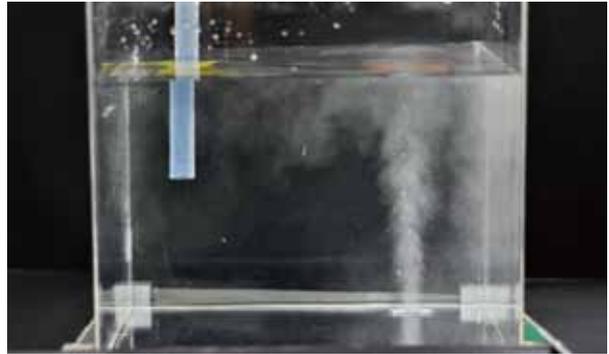
三笠社長が徒手空拳でここまでこれたのは、「品質本位」という京都商法を忠実に実行してきたからだ。トヨタ車に電装部品を納入しているが、いまだに故障はゼロだという。「大手のライバルに比べ工場は見劣りするが、品質は負けていませんよ」と本社工場を訪れた納入先の幹部連からほめられたことで自信を深めている。

いよいよ自社製品を売り出す機会が近づいている。それは独自のファインバブル（微細な泡）の発生装置で食品、医療など殺菌・洗浄できる技術を確認したからである。現在、大阪大学病院と共同で手術器具の洗浄に使用できるよう開発を急いでいる。また、大阪科学技術センターのサポートで公的資金の獲得へ向け準備も進めている。

「これが軌道に乗れば売上100億円の夢に大

きく近づきます」と三笠社長は期待をかけている。そして最大の課題は後継者問題で、次なる飛躍へ構想を練っている。

さて大見出しはトスレック憲章の一つで、「二番」とは、一番に躍り出たらいつか転ぶので、謙虚に常に高い目標を目指そうという意味を込めているようだ。



〈トップのプロフィール〉

- ①生年月日：1943年（昭和18年）5月13日
- ②最終学歴：立命館大学経済学部卒
- ③職歴：1967年（昭和42年）電線問屋入社、1982年（昭和57年）独立
- ④趣味：ラグビー、ゴルフ
- ⑤健康法：真心、明るく、正しく一生きる

〈会社の概要〉

- 創業年月日：昭和57（1982）年9月
- 年商（決算期）：53億円（2014年9月期、人材派遣業も含む）
- 事業内容：半導体及び電子部品並びに端末機器の販売、プリント基板の設計・製作・組み立て加工品の販売、電気機器及び制御機器の製造及び販売、規格コード及びワイヤーハーネス加工品の製造販売、人材派遣業
- 従業員数：400名（正社員約50%、2014年9月末現在）
- 所在地：〒601-8303
京都府京都市南区吉祥院西ノ庄西中町46-2
- 電話：（代）075-314-2418
- FAX：075-314-2416
- HP：<http://www.tosslec.co.jp/>
- E-mail：mikasa@tosslec.co.jp